

第5章 環境教育等の推進

1 背景と基本的な考え方

(1) 背景

第三次計画では、「ひとを育てる環境教育プロジェクト」として、環境教育・環境学習の推進、環境人材の育成、ネットワーク化と連携の推進を軸に、持続可能な社会づくりに貢献する「ひとを育てる」ことをリーディングプロジェクトとして推進してきました。

この取組を継続、発展させるため、本計画では「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」の主旨を踏まえ、環境教育等の推進を重要な取組分野として取り扱うこととします。

(2) 基本的な考え方

私たちの行動は地球環境に影響を与え、地球環境の悪化も私たちの生活に影響を与えており、一人ひとりの日々の暮らしと世界中の環境問題は密接につながっています。そして、気候変動や生物多様性の損失等の多くの環境問題は、経済的社会的に弱い国や地域に影響が大きく、現在の世代より将来の世代により深刻な影響を与えます。

これらの解決には、本市の環境について、自ら向き合い、自ら行動する人材を育成するために、子どもから大人まで生涯を通じて学ぶ機会や場を創出していくとともに、一人ひとりの市民、個々の事業者が、将来にわたり継続的に環境に配慮した行動をとることが重要です。

そのためには、私たちの生活が環境の恵みの上に成り立っていることを実感し、私たちの活動に起因する環境負荷が、環境に大きな影響を及ぼしていることを理解し、問題の本質や取組の方法を自ら考え、解決する能力を身に付け、実際の「行動」に結び付けていく持続可能な開発のための教育（ESD*）の推進が重要です。

さらに、環境を軸とした成長を進める上で、環境保全活動に加えて、市民、事業者、NPO等団体、学校、行政等の連携が不可欠です。

ESDの視点で捉える (持続可能な社会で大切なことを理解する) －捉え方の例－

多様性 いろいろある



自然・文化・社会・経済は、多種多様な事物から成り立っています。そうした多様性を尊重するとともに、事物・現象を多面的に見たり考えたりすることが大切です。

相互性 関わり合っている



自然・文化・社会・経済は、互いに働き掛け合うシステムであり、人もそれらとつながりを持ち、人同士も関わり合って相互に作用していることを認識することが大切です。

有限性 限りがある



自然・文化・社会・経済を成り立たせている環境要因や資源は有限であり、それらに支えられた社会発展には限界があることを知るとともに、将来世代のために有効に使用していくことが大切です。

公平性 一人ひとり大切に



持続可能な社会の基盤は、一人ひとりの人権や生命が尊重されることです。権利の保障や恩恵の享受は公平である必要があり、地域や世代を超えて保持されることが大切です。

連携性 力を合わせて



持続可能な社会の構築・維持には、多様な主体の連携・協力が不可欠であり、意見や立場が違っても、適宜順応・調和を図りながら、互いに協力して問題を解決していくことが大切です。

責任性 責任をもって



持続可能な社会を構築するためには、一人ひとりが責任と義務を自覚し、望ましい将来像に対する責任あるビジョンを持って、他人任せにせず自ら進んで行動することが大切です。

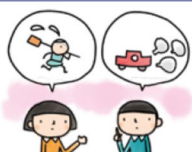
ESDの視点で工夫する (問題解決に必要な能力・態度を身に付ける) －工夫の例－

批判 批判的に考える力



合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力。

未来 未来像を予測して計画を立てる力



過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力。

多面 多面的、総合的に考える力



人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解し、それらを多面的、総合的に考える力。

伝達 コミュニケーションを行う力



自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力。

協力 他者と協力する態度



他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度。

関連 つながりを尊重する態度



人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心をもち、それらを尊重し大切にしようとする態度。

参加 進んで参加する態度



集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度。

出典：こども環境白書（環境省）

2 取組方針

背景と基本的な考え方を踏まえて、本市における環境教育等は以下の取組方針に基づき推進します。

取組方針	内容
(1) あらゆる主体・世代への環境教育・環境学習の推進	学校や家庭、地域、職場などあらゆる場において、幅広い世代を対象とした環境教育・環境学習の機会を提供します。
(2) 環境人材の育成と活用	環境教育や環境保全活動等の推進において、指導者や地域における環境保全活動を担う環境人材を育成し、各主体の活動と連携することで持続的な活動を支援します。
(3) 地域資源を活かした体験の機会と場の整備・活用	自然体験活動をはじめとして、本市の地域資源を活かした体験活動への参加機会を拡充するとともに、体験の場を整備することで、地域環境への関心・愛着を高めます。

3 取組内容

(1) あらゆる主体・世代への環境教育・環境学習の推進

学校や家庭、地域、職場などあらゆる場において、幅広い世代を対象とした環境教育・環境学習の機会を提供します。

環境教育・環境学習の推進

対象	取組内容	環境分野
学校	● 小中高校への出前授業において、市が進める各種事業や施策の説明などを行い、市民の理解を促進します	自 快 生 資 地
	● 環境に配慮したエコスクールの整備を推進します	自 資 地
親子・一般	● 歴史・文化資源を活用した展示・イベント等を開催し、地域文化の理解を促進します	快
小中学生	● 学校・団体の受け入れを積極的に行い、地域文化の理解を促進します	快
	● 環境教育副読本を作成・活用し、環境保全についての知識の普及と意識の向上を図ります	自 生 資 地
地域・職場	● まちづくり出張教室において、市が進める各種事業や施策の説明などを行い、市民の理解を促進します	自 快 生 資 地
	● 緑化講習会等を通じて、緑化意識の高揚を図ります	快
すべて	● 環境白書等を通じて、市域の環境の状況を公表し、市民の理解を促進します	自 快 生 資 地
	● イベントや広報誌等により、4Rについて啓発を実施し、市民意識の高揚を図ります	資 地
	● 自然観察会において、市内の身近な自然環境を観察することにより自然の大切さを学び、自然を守り育てる意識の高揚を図ります	自
	● 地球温暖化対策ガイドブックを作成・活用し、地球温暖化防止についての知識の普及と意識の高揚を図ります	資 地

(2) 環境人材の育成と活用

環境教育や環境保全活動等の推進において、指導者や地域における環境保全活動を担う環境人材を育成し、各主体の活動と連携することで持続的な活動を支援します。

環境人材の育成と活用

対象	取組内容	環境分野
学校	● 教職員への環境教育に関する研修を実施し、環境教育の充実を図ります	自 快 生 資 地
小中高校生	● 子どもたちの環境に対する意識の高揚を図るため、「こどもエコクラブ」への参加を促進します	自 快 生 資 地
小中高校生 一般	● 市民ボランティアガイドを育成し、歴史的文化資源の活用を推進します	快
地域	● 公園・緑地の維持管理を行うボランティア団体の育成を図ります	快
	● 市民ボランティアの清掃活動を支援し、地域に根ざした美化活動を促進します	快
連携	● 「地球温暖化対策おおいた市民会議」を通じて、市、市民、事業者が連携した取組を進めます	資 地
	● 大分市環境保全活動団体の登録を促進し、団体間のネットワーク化を推進します	自 快 生 資 地
	● 地球温暖化対策おおいた市民会議や大分市環境保全活動団体と連携し、環境保全活動を担う人材の育成を推進します	自 快 生 資 地
	● 環境保全活動を行う団体の情報発信等を行い、団体相互の連携や活性化を促進します	自 快 生 資 地
	● 生涯学習指導者やボランティア、NPO等を登録した大分市人材バンクを活用し、環境保全活動や実践活動の支援を行います	自 快 生 資 地

(3) 地域資源を活かした体験の機会と場の整備・活用

自然体験活動をはじめとして、本市の地域資源を活かした体験活動への参加機会を拡充するとともに、体験の場を整備することで、地域環境への関心・愛着を高めます。

地域資源を活かした体験の機会と場の整備・活用

地域資源		取組内容	環境分野
自然環境	森林セラピー	● 各セラピーロードにおいて、森林セラピスト・森林セラピーガイドによるプログラムを実施します	自
		● 様々な対象に向けたイベントを企画・実施します	自
	木育イベント	● 木材や木製品との触れ合いを通じて、木材への親しみや木の文化への理解を深めます	自 地
	地産地消イベント	● 農作物の収穫体験を通して、都市部と農村部との相互理解を促進します	自
	自然観察会	● 自然観察会を実施し、身近な自然に親しむ機会を創出します	自
	大分川	● かわとまちが一体となって賑わいを創出する「かわまちづくり」の取組を推進します	自 快 生
快適環境	大友氏遺跡歴史公園	● 歴史・文化を活かしたまちづくりを推進します	快
—	学校	● 環境に配慮したエコスクールの整備を推進します	自 資 地